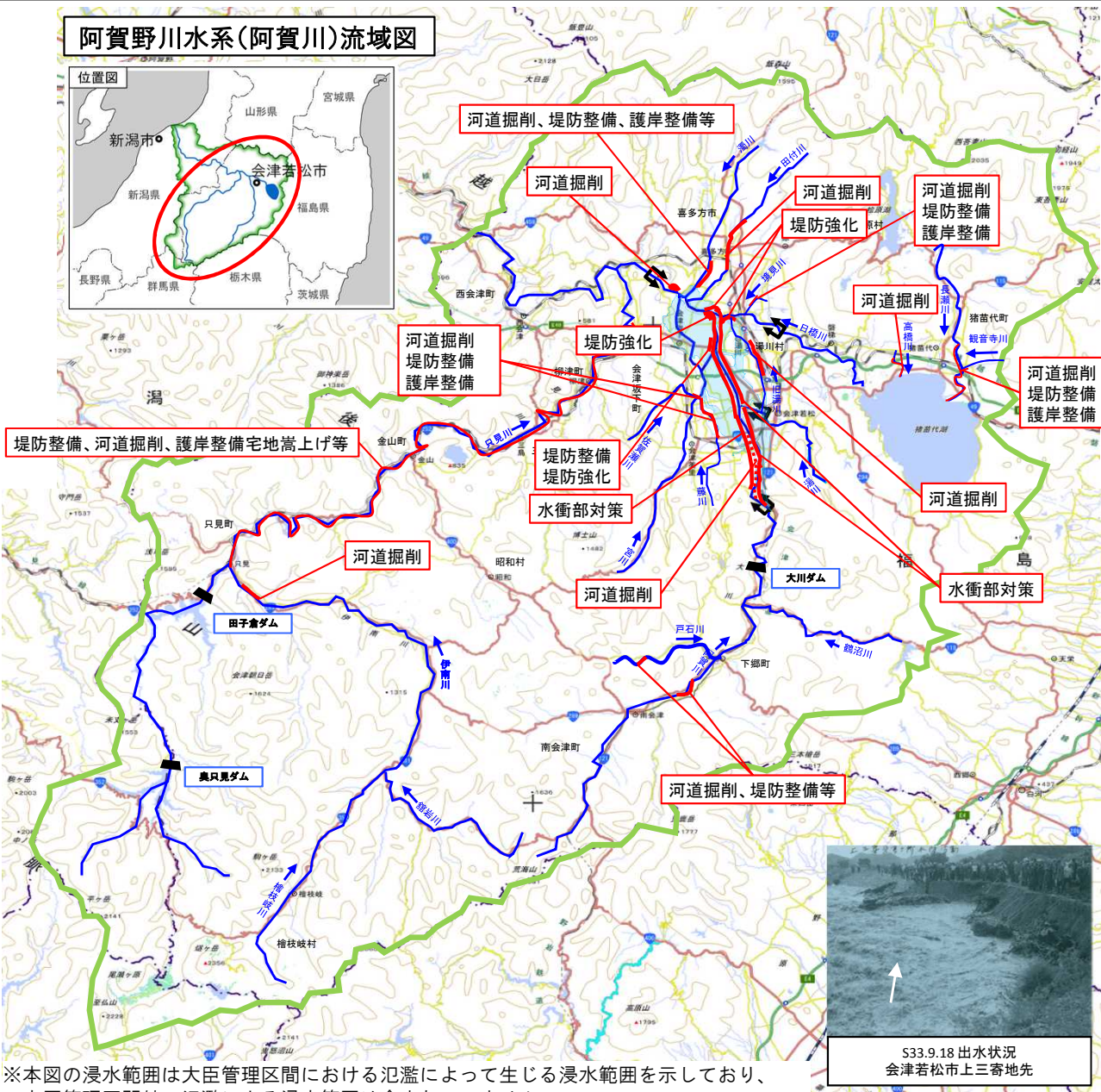


阿賀野川水系（阿賀川）流域治水プロジェクト【中間とりまとめ案】

～「多様な特性を持つ大河」会津地域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、阿賀川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の昭和22年9月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※本図の浸水範囲は大臣管理区間における氾濫によって生じる浸水範囲を示しており、大臣管理区間外の氾濫による浸水範囲は含まれていません。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。



S33.9.18 出水状況
会津若松市上三寄地先

- 凡例
- 浸水範囲(戦後最大規模に対する氾濫解析)
 - 流域境(阿賀野川上流域(福島県側))
 - 大臣管理区間

河川における対策

対策内容 堤防整備、河道掘削、堤防強化、水衝部対策、護岸整備、宅地高上げ等

流域における対策のイメージ

- ・土のうステーションの整備
- ・ポンプ施設の増強
- ・浸透弁の設置による雨水排水機能の増強
- ・河道拡幅
- ・既存樋管ゲートの無動力化
- ・土地区画整理事業における水路の整備
- ・下水道事業における雨水幹線の整備
- ・暗渠排水を備えた学校グラウンドの整備
- ・管理されていない私有人工林の整備・保全
- ・ため池堰堤耐震対策
- ・砂防事業

※今後、関係機関と連携し対策検討

ソフト対策のイメージ

- ・危機管理型水位計、CCTV、量水標等の設置
- ・簡易型河川監視カメラの整備
- ・リアルタイムの情報提供の充実
- ・プッシュ型情報の発信など防災情報の充実
- ・小中学校等における水災害教育の実施
- ・国・県・市が連携した水防訓練の取組、危険箇所合同巡視
- ・国・県・市が連携したタイムラインの運用、ハザードマップ作成
- ・マイ・タイムラインの普及・啓発・作成支援
- ・SNSによる情報発信強化
- ・地域防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
- ・広域防災ネットワークの構築
- ・防災行政無線戸別受信器の整備
- ・民間等の新規開発事業における雨水流出抑制施設の検討
- ・自治体における防災普及員の雇用

※今後、関係機関と連携し対策検討